

道徳科学習指導案

- 1 学 級 第3学年1組 男子10名 女子19名 計29名
- 2 主題名 「親切とおせっかい」 B 親切, 思いやり
- 3 ねらい 親切とおせっかいの違いに気付き, 相手の立場や気持ちを考える活動を通して, 進んで親切にしようとする態度を養う。
- 4 教材名 「わたしのしたこと」
- 5 主題設定の理由

○主題観

「親切」とは、相手の気持ちや立場を自分のこととしてとらえ、相手のことを親身になって考えた態度のことである。児童は、自分の家族などの親しい人に対して親切にしたりされたりしてうれしく感じる経験を多くしている。中学年の段階では、今までより活動範囲も広がり、様々な人々との関わりによって、相手の気持ちを察したり相手の気持ちをより深く理解したりできるようになる。そのため、身近な人が困っていたり苦しんでいたたり悲しんでいたたりすると自分のことのように思え、何とかせずにはいられない気持ちがわいてくる。その気持ちが行為と結びついて「親切」となるのである。

しかし、相手に親切にするという行為を安易に考え、自分本位な態度をとると反対に相手を困らせたり悲しませたりすることになる。そのためには、相手の立場や気持ちをよく考え相手のことを深く思いやった行動をとることが大切である。

○児童観

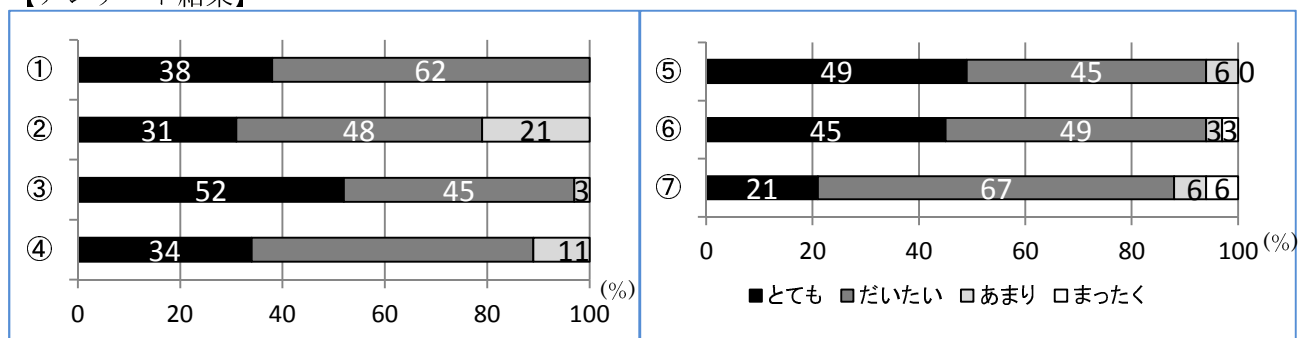
本学級の児童は、単学級学年のため、同一クラスで2年間を過ごしてきた。休憩時間には友達に気軽に声をかけ、一緒にボールゲームをするなど仲のよい様子が見られる。しかし、人間関係が小集団化する傾向も見られ、自分の意見を言えず集団の雰囲気に流されて過ごしていることもある。

本時で「親切, 思いやり」の態度について学習を行うに当たり、事前のアンケートを行った。

【アンケート項目】

① あなたは、だれとでもなかよく仕事をします。	⑤ あなたは、悪いことをした時に、すぐにあやまります。
② あなたは、こまっている人がいたらすぐに助けます。	⑥ あなたは、自分の大事なものをこわしたらぜったいにゆるしません。
③ あなたは、自分とちがう考えでも話をよく聞きます。	⑦ あなたは、好きな友だちとだけあそぶようにしています。
④ あなたは、相手の心を傷つけないように考えて行動しています。	

【アンケート結果】



アンケートでは、79%の児童が「こまっている人がいたらすぐに助ける。」と回答している。また、90%の児童が「相手の心を傷つけないように考えて行動する。」と回答しており、記述内容にも「相手が悲しむといやだから。」「みんなですっきりした方が気持ちいい。」と相手の気持ちへの配慮がうかがわれる。しかし、普段の生活の様子からは、独りよがりの親切や相手の気持ちを考えない声のかけ方などの行為が出る場面も少なくない。また、「自分の大事なものをこわしたらぜったいにゆるしません。」は93%、「好きな友だちとだけあそぶようにしている。」は83%と数値も高く、友達への寛容さに欠ける面も見られる。

今回のユニット学習の中で、相手の立場に立って考える活動を増やすことで、相手への思いやりのよさを実感させ、日常生活への実践力へつなげていきたい。

○指導観

本教材は、「わたし」が図工の時間に困っているノンちゃんを手伝ってあげようという親切心から絵の色ぬりをしたが、反対にノンちゃんを不愉快な気持ちにさせてしまう。図画コンクール金賞という結果が出て、初めてそのことに気づき、かえってお互いが気まずい雰囲気になってしまう。「わたし」の行為から、自分のしたことが相手に対してどういう気持ちを抱かせてしまったのかを考える活動を通して、本当の親切とは何かを考えることのできる教材である。

指導に当たっては、導入の際に「親切」と「おせっかい」の違いを考えさせる。そのあと二人の心を比較して考えさせることで「わたしのしたこと」に対する「わたし」と「ノンちゃん」の気持ちの違いをとらえさせる。終末で改めて「親切」と「おせっかい」の違いを考え、自分自身の親切に対する思いの変化を感じさせたい。また、行動を起こす前に相手の立場や気持ちを考える大切さを確認し、相手が本当に喜ぶ親切を行うことができる実践力へとつなげていきたい。

本教材に含まれていると考える道徳的価値は、次のとおりである。

【この教材に含まれる道徳的価値】

- ◆ 自分とは異なる感じ方がある。
- ◆ 学校生活の中では、様々な人と多様な関わり方がある。
- ◆ 相手の言葉の裏にある思いを知ることで、相手への理解を深める。

道徳的判断力を育成する場面としては、中心発問「ノンちゃんの様子を見て、「わたし」はノンちゃんの色ぬりをしたことをどう思っているでしょう。」を設定した。手伝ってあげてコンクールで金賞をとるという結果をあげたが、相手の立場や気持ちを考えない態度は、反対に相手を傷つける「おせっかい」で自己満足な態度であることを学ばせ、今後の生活で、道徳的判断を行う際の根拠とさせたい。

導入と終末では、自分の考えを文章化する場面でユニットノートを活用し、事後指導に役立てる予定である。

また、本学級の児童は、9月から以下のようなユニットを組み、道徳科の学習を進めている。本時はその第3時にあたる。ユニット第1時で取り上げた、互いに思いやる気持ちと協力、第2時で取り上げた、仲間の失敗を許す気持ち、第4時に取り上げる、正しく判断し実行していこうとする心の強さ、第5時で取り上げる、公平な態度で接する大切さを踏まえ、ユニットの締めくくりとして全体を貫くテーマ「仲よく」に迫っていきたい。

【ユニットとの関連】 ユニットテーマ「仲よく」

	教材名	内容項目・主題名	ユニットとの関連
第1時	四人五きやく	C よりよい学校生活, 集団生活の充実 「みんなで力をあわせて」	楽しい学級をつくっていくためには互いに思いやり協力し合うことが大切であることを感じる。
第2時	ドンマイドンマイ	B 相互理解, 寛容 「なかまの気持ち」	相手の思いを理解すると, 失敗を認め許す心が生まれ, よりよい関係を築っていく態度を養う。
第3時 (本時)	わたしのしたこと	B 親切, 思いやり 「親切とおせっかい」	友だちとよい関係を保つためには, 相手の立場や気持ちを考えた行動が大切であると理解する。
第4時	思い切って言ったらどうなるの?	A 善悪の判断, 自律, 自由と責任 「どうすることが正しいか」	やってはならないことをやめるように言う勇気を持ち, 公正な集団をつくっていくこうとする態度を養う。
第5時	お日さまの心で	C 公正, 公平, 社会正義 「だれとでもなかよくするために」	だれとでも仲よくするためには, 公平に接する態度が大事であることを考える。

6 他の教育活動などとの関わり

小学校 第1学年及び第2学年 B 親切, 思いやり

身近にいる人に温かい心で接し, 親切にすること。

小学校 第3学年及び第4学年 B 親切, 思いやり

相手のことを思いやり, 進んで親切にすること。

道徳

・10月「わたしのしたこと」 3月「おばあちゃんのコースター」

国語

・10月「サーカスのライオン」

算数

・5月「算数のじっけん室」 11月「重さ」

音楽

・11月「いろいろな音のひびきをかんどろう」

体育

・5月「体ほぐしの運動」 9月「かけっこ・リレー」

学校行事

・9月「大運動会」 11月「学習発表会」

小学校 第5学年及び第6学年 B 親切, 思いやり

誰に対しても思いやりの心を持ち, 相手の立場に立って親切にすること。

中学校 B 親切, 思いやり

思いやりの心を持って人と接するとともに, 家族などの支えや多くの人々善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し, 進んでそれに応え, 人間愛の精神を深めること。

7 学習指導過程

段階	学習活動	主な発問と予想される児童の心の動き (○基本発問 ◎中心発問 ●補助発問)	○指導上の留意点 ☆評価の観点		
導入	1 「親切」な態度について話し合う。	○友だちから親切にされたことは, どんなことがありますか。 ・ランドセルのかたづけを手伝うのは親切です。 ・道具がないときにかしてくれました。	○相手のために何かをしてあげても, 親切にはならない時もあり, ねらいとする価値への方向付けをすることで児童に課題意識を持たせるようにする。 ○ユニットノートに記入させておき, 終末場面で自分と関連付けて考えられるようにしておく。		
		<table border="1" data-bbox="349 1312 1091 1406"><tr><td>課題</td><td>本当の親切はどうすること?</td></tr></table>	課題	本当の親切はどうすること?	
課題	本当の親切はどうすること?				
展開	2 「わたしがしたこと」を読んで, 話し合う。 (1) 色ぬりに対する「わたし」とノンちゃんの気持ちの違いを考える。	○「わたし」は, どんな気持ちからノンちゃんの絵の色ぬりをしたのでしょうか。 ・ノンちゃんが困っているから助けてあげよう。 ・きれいにぬってノンちゃんを喜ばせたい。 ・えんりよしくなくてもいいよ。やってあげるから。 ・私がやった方がうまいから。 ○どうしてノンちゃんは, だまっただま片づけをはじめたのでしょうか。	○色ぬりをしたことは, 「わたし」のノンちゃんに対する思いからでた行為であることをおさえる。		

展 開	<p>(2)「わたし」のしたことをノンちゃんの立場に立って振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・何で勝手に色をぬるの。 ・自分で最後まで仕上げたかった。 ・「いいよ。」といっているのに、むりにやっぴやだなあ。 ・ぬり方を教えてほしかっただけなのに。 <p>◎ノンちゃんの様子を見て、「わたし」はノンちゃんの絵の色ぬりをしたことをどう思っているでしょう。</p> <p>【ユニットノート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が色ぬりをしたことは、めいわくだったのかもしれない。 ・ノンちゃんが悲しんでいるのを見て、本当は嫌だったのかもしれないと思っている。 ・ノンちゃんに悪くて下をむいた。 ・ノンちゃんの絵だったのに自分がぬってしまっで絵をだめにしてしまったのかも。 <p>●「わたし」のした色ぬりは、親切だったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の気もちを考えないおせっかいな態度だと思ふ。 ・ノンちゃんは親切とは思っていない。反対に迷惑でいやだった。 	<p>○自分の絵を勝手に塗られてしまったことに対するノンちゃんの思いを考えさせる。</p> <p>○絵の色をぬった行為に対する二人の感じ方の違いをとらえさせる。</p> <p>○親切だと思っていたことも相手の受け取り方によっては「おせっかい」になることをとらえさせる。</p> <p>☆相手の立場や気持ちを考えないと「親切」でしたことでも相手が困ったり悲しんだりすることが分かる。</p>
--------	--	---	--

終末	<p>3 「親切」についてまとめ、自分の生活を振り返る。</p> <p>(1)「親切」と「おせっかい」の違いを考え、相手への思いやりをもつ価値に気付かせる。</p>	<p>○本当の親切とはどんなことでしょう。</p> <p>【ユニットノート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やってあげて、相手が喜ぶことが親切だから、やってあげても嫌がっている本当の親切とはいえない。 ・「親切」はお互いにうれしい気持ちになると思う。 ・相手がどう思っているかを考えることが大切。 ・相手の様子を見て、自分だけでやるのではなく、一緒にやってあげるのがいいと思う。 ・しずかに見守ってあげることも大切だと思う。 	<p>○ユニットノートに記入した、導入部分の考えと重ね合わせて考えさせることで、自分事として、ねらいとする価値について考えさせる。</p> <p>☆相手の立場や気持ちを考え「親切」にしようとする意欲がもてたか。</p>
----	--	--	---

8 板書計画

